学校番号	323

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新　精選　言語文化」　（明治書院）						
副教材等	古文単語パレット 345（浜島書店）新精選古典文法三訂版（東京書籍） 新精選古典文法演習ノート改訂版（東京書籍）カラー版新国語便覧（第一学習社） 正しく読み・解くための力をつける言語文化（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業にしっかりと取り組む。
　本文や授業の説明で出てきたわからない言葉・内容等を、自分で調べ、語彙力と表現力を高める。
　本文の読解や授業内容を踏まえ、そこから自分の考えを深める。
　級友などの他者の考えに真摯に耳を傾け、そこから学ぶという姿勢を大事にする。
　授業中の「記述」は各自が自分の考えた答えを決められた時間内に書き上げる。
提示されたものを機械的に書き写すのではなく理解を深めながら書く。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や表現方法を学ぶなかで、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	古文入門 ［教材］宇治拾遺物語 「児のそら寝」「絵仏師良秀」	a：文語のきまりを理解し、古文に親しむ。 b[　読　]：説話のおもしろさを味わう。 c：進んで説話のおもしろさを味わい、文語のきまりを理解し、古文に親しみ、歴史的仮名遣いの読み方を理解し、今までの学習を生かして、古文を音読しようとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 音読 定期考査	授業態度 リフレクションシート
	物語1 ［教材］竹取物語	a：文語助詞の種類と用法を理解する。 b[読]：『竹取物語』に描かれた人物の心情などを読み取る。 c：古典文学と月の関係について理解し、今までの学習を生かして、月が詠まれた和歌を鑑賞し、昔の人が月に込めた思いについて考えようとしている。	成果物の提出 定期考査	発問評価 音読 定期考査	授業態度 リフレクションシート
	故事成語 ［教材］断腸	a：故事成語の由来や意味と、現代の言葉とのつながりを理解する。 b[読]：訓読のきまりや熟語の構造を理解するとともに、文章の内容をその叙述に即して的確に読み取る。 c：故事成語の由来や意味と、現代の言葉とのつながりを理解し、文章の内容をその叙述に即して的確に読み取ろうとしている。	成果物の提出 定期考査	発問評価 音読 定期考査	授業態度 リフレクションシート
	物語2 ［教材］伊勢物語 「芥川」「筒井筒」	a：昔の人の恋のあり方について理解し、歌物語に親しむ。 b[読]：同じ和歌を主題とした異なる物語を読み比べる。 c：進んで昔の人の恋のあり方について理解し、歌物語に親しみ、今までの学習を生かして、想像力を働かせ、人物の心情を考えようとしている。	成果物の提出 定期考査	発問評価 音読 定期考査	授業態度 リフレクションシート
2学期	日記 ［教材］土佐日記 「門出」	a：諧謔などの表現の工夫を味わう。 b[読]：日記文学の特徴や成立の背景を理解する。 c：進んで日記文学の特徴や成立の背景、真名と仮名について理解しようとしている。	成果物の提出 定期考査	発問評価 音読 定期考査	授業態度 リフレクションシート
	詩文 ［教材］詩 「絶句・律詩」	a：漢詩のきまりと表現の特色について学び、漢詩の世界に親しむ。 b[書]：漢詩文の日本語・日本文学への影響を考察する。 c：漢詩文の表現の特色について学び、描かれた状況や心情を考えながら、それぞれの漢詩文を読み味わい、今までの学習を生かして、漢詩文の日本語・日本文学への影響を考察しようとしている。	成果物の提出 定期考査	発問評価 音読 定期考査	授業態度 リフレクションシート
	随筆 ［教材］徒然草	a：文語助動詞の種類と用法を理解する。 b[読]：『徒然草』に表れた作者のものの見方、感じ方を捉える。 c：『徒然草』に表れた作者のものの見方、感じ方を捉え、作者の主張を読み取り、批評しようとしている。	成果物の提出 定期考査	発問評価 音読 定期考査	授業態度 リフレクションシート

	和歌 ［教材］「万葉集」「古今集」「新古今和歌集」	a：和歌・短歌に特徴的な表現の技法を理解し、語感を磨く。 b[読]：古代から現代にまで続く、和歌・短歌の形式を理解し、その代表的作品を読み味わう。 c：進んで和歌や短歌の表現技法とその効果を理解し、今までの学習を生かして、折句の技法を用いて、感じたことや発見したことを表現しようとしている。	成果物の提出 定期考査	発問評価 音読 定期考査	授業態度 リフレクションシート
3学期	史伝 ［教材］十八史略「先従隗始」	a：史伝の背景を理解し、漢文の世界に親しむ。 b[読]：史伝に描かれた登場人物の言動・心情・考え方や生き方を学び、自己の生き方の糧にする。 ［書］： ・史伝の登場人物の紹介文を書く。 c：進んで史伝の背景を理解し、史伝に描かれた登場人物の言動・心情・考え方や生き方を学ぼうとし、今までの学習を生かして、登場人物の紹介文を書こうとしている。	成果物の提出 定期考査	発問評価 音読 定期考査	授業態度 リフレクションシート
	物語3 ［教材］平家物語「木曽の最期」	a：軍記物語の文体の特徴について理解する。 b[話/聞]：音読する、平曲を聞くなどを通して『平家物語』特有の表現を味わう。 c：進んで音読することを通して『平家物語』特有の表現を味わい、軍記物語の文体の特徴について理解し、物語に描かれた人物の心情を深く読み取ろうとしている。	成果物の提出 定期考査	発問評価 音読 定期考査	授業態度 リフレクションシート

4　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　2　）時間

・書くこと　…　（　5　）時間

・読むこと　…　（　６３　）時間